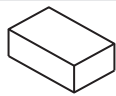


9. 棚板

使用部材



コアキャビネット

コアキャビネット

【まるごと収納タイプの場合】

底板セット

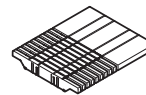


アングル材
(2個)

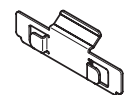


トラスタッピンねじ
4×40(2本)

棚板セット



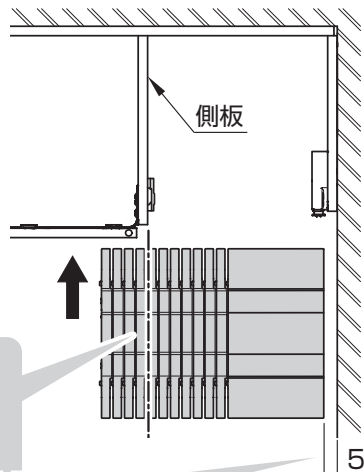
棚板
(4枚)



支持材
(4個)

1 棚板のカット

【上面図】

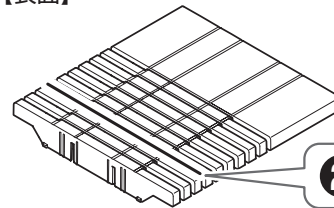


1 けがき



壁から5mm程度すき間
を空けて側板端から一番
近い溝をけがく

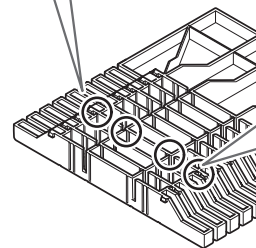
【表面】



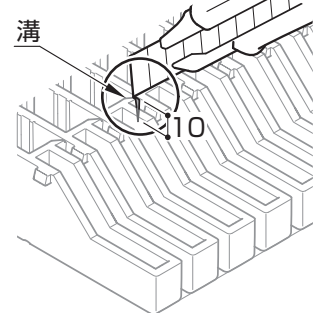
2 カッターで2回程度なぞる

【裏面】

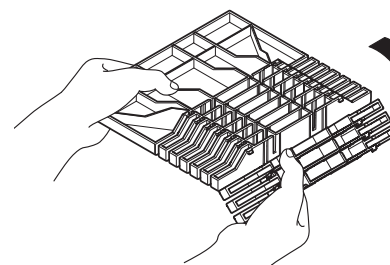
3 けがいた位置を
確認(4カ所)



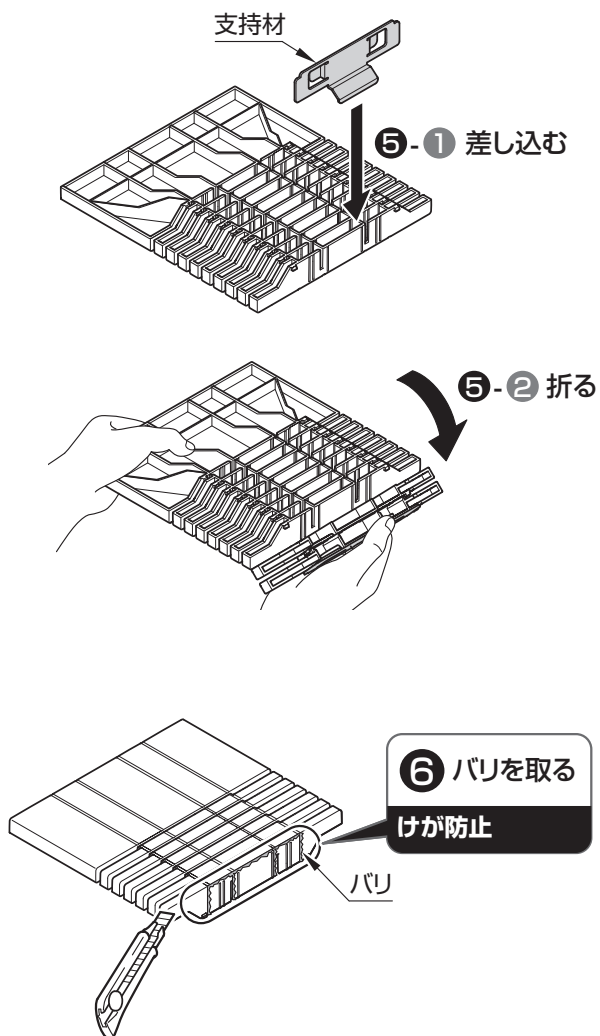
4 リブの溝にあわせて
切り込みを入れる
(4カ所)



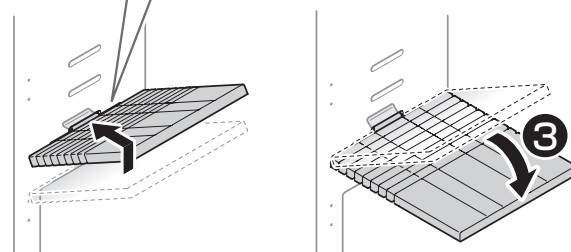
5 折る



【棚板のカット寸法が小さく折りづらい場合】

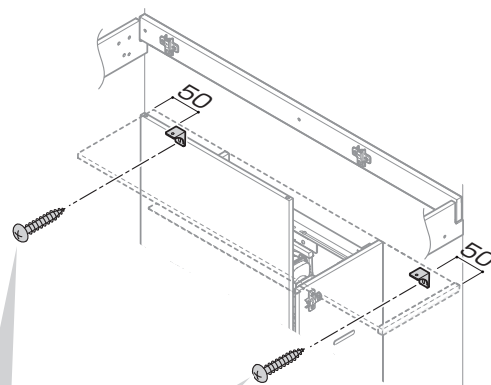


② 棚板の取り付け

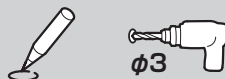


3 アンゲル材の取り付け

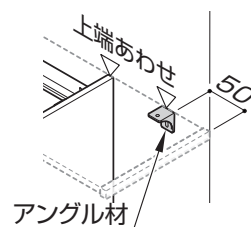
収納タイプ、スリム収納
タイプの場合は10.扉へ



① けがき → 下穴※

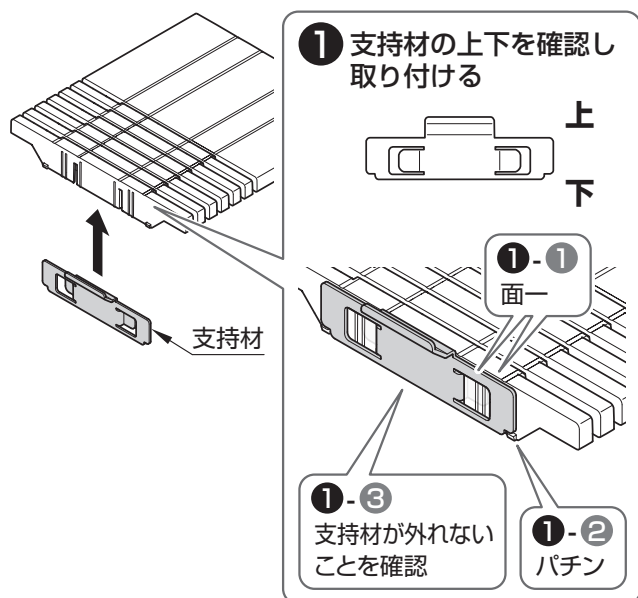


※【壁裏補強なしの場合】
下穴 → ボードアンカー
(オプション)



② トラストッピンねじ 4×40(2本)

2 棚板の取り付け



10. 扉

使用部材



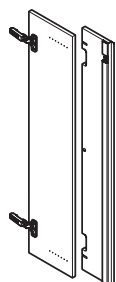
詰め合わせ箱

施工説明書



コアキャビネット

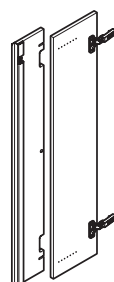
扉セット (左)



扉組品
(1セット)

トラス
タッピンねじ
4×20(3本)※1

扉セット (右)



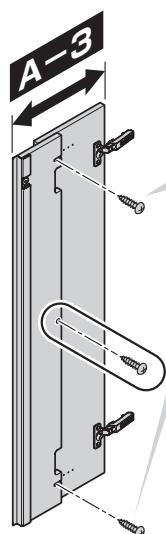
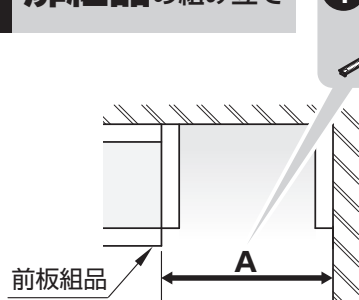
扉組品
(1セット)

トラス
タッピンねじ
4×20(3本)※1

※対応間口によって裏扉の仕様(切り欠きの有無)は異なります。
※1 残り1本は14.仕上げで使用

1 扉組品の組み立て

1 測定



2 手締めで

トラスタッピンねじ
4×20(2本)

本固定用(ここでは使用しない)
▶「14.仕上げ」

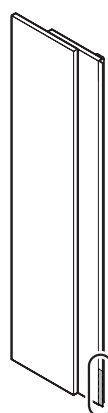
※図は扉セット (右) の場合

幅木がある場合

3 カット



扉は開閉のため、床仕上げ面から浮いているので切りすぎないように注意すること



3-1

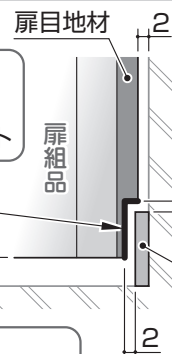
扉装着を想定して
幅木にあわせてカット

カット部

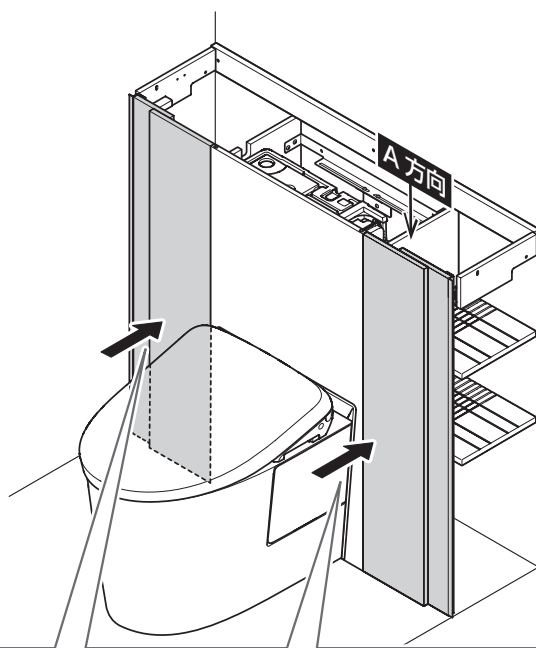
床仕上げ面

3-2

扉下端と床仕上げ面の
すき間(目安)



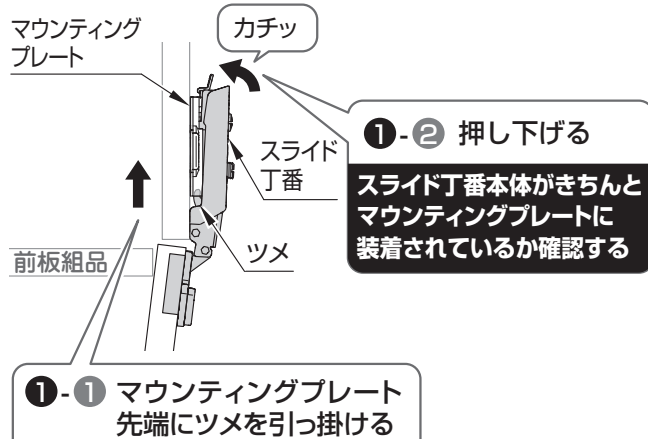
2 扉組品の取り付け



1 コアキャビネットのスライド丁番に取り付け

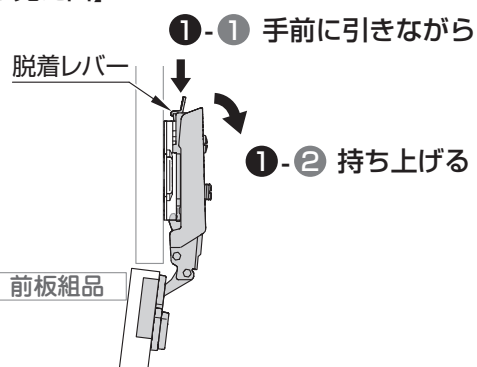
取り付けかた

【A方向から見た図】



取り外しかた

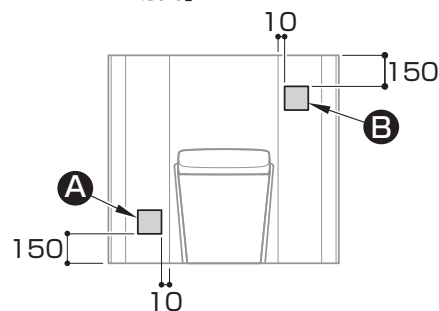
【A方向から見た図】



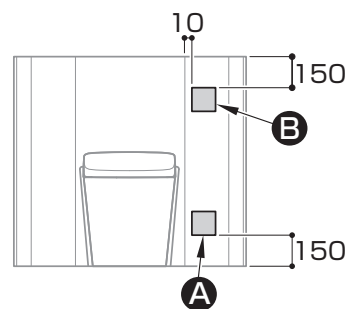
2 ラベルをはり付ける

A	止水栓ラベル
B	便器洗浄ラベル 手洗器なしの場合：GH04274* 手洗器ありの場合：GH04275*
C	4VOCラベル

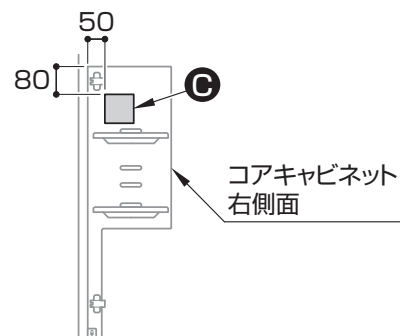
【止水栓が左にある場合】



【止水栓が右にある場合】



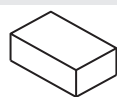
【右側面】



はり付け位置(参考)

11. 試運転・確認

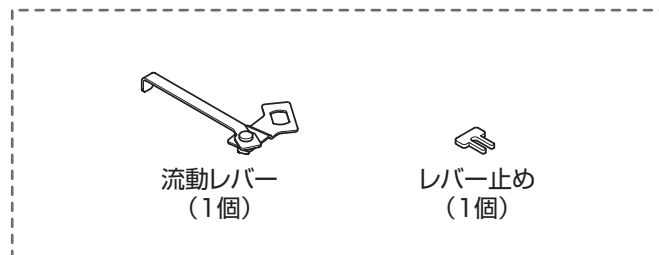
使用部材



コアキャビネット

セットタンク

【流動方式の場合】

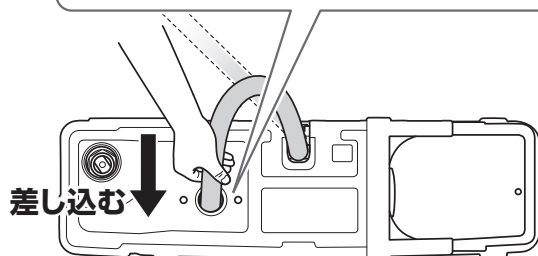


MEMO

1 試運転の前準備

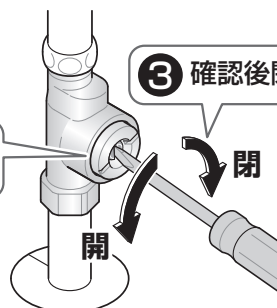
手洗器あり

- ① 給水ホースセットをセットタンクに差し込む**
 ※試運転時の給水をセットタンク内に流入させるためです。
 手洗器取付時に水栓金具に接続します。



手洗器あり/手洗器なし 共通

- ② 止水栓を開ける**
 ※内側だけを回す



- ③ 確認後閉める**

閉

2 ウォシュレットの吐水確認

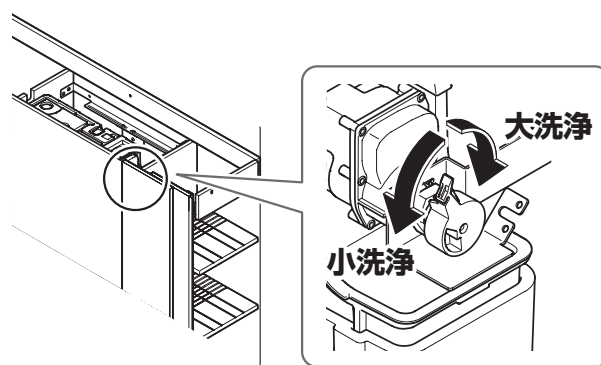
- ① ウォシュレットを試運転し、吐水確認を行う**

参照 ウォシュレットの施工説明書

※試運転の前および試運転完了時は、必ず電源プラグがコンセントに差し込まれていることを確認してください。
 (ウォシュレット本体表示部の「運転」ランプが点灯します。)

3 便器洗浄の確認

洗浄レバー



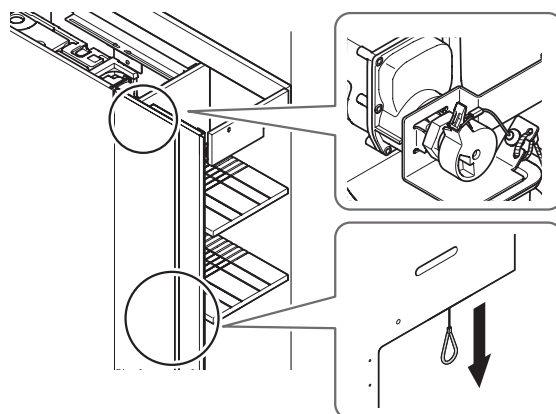
- ① 作動確認**

コアキャビネット内の洗浄レバーを操作する

- ☐ 大・小洗浄とも正常に行われるか
☐ スムーズに回転するか

手洗器あり

ワイヤー



- ② 作動確認**

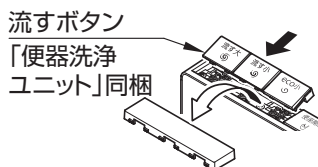
コアキャビネット内のワイヤーを操作し、洗浄レバーの動きを確認する

- ☐ 洗浄が正常に行われるか
☐ スムーズに回転するか

リモコン

① 流すボタンが取り付けられているか確認する

参照 流すボタン取付説明書

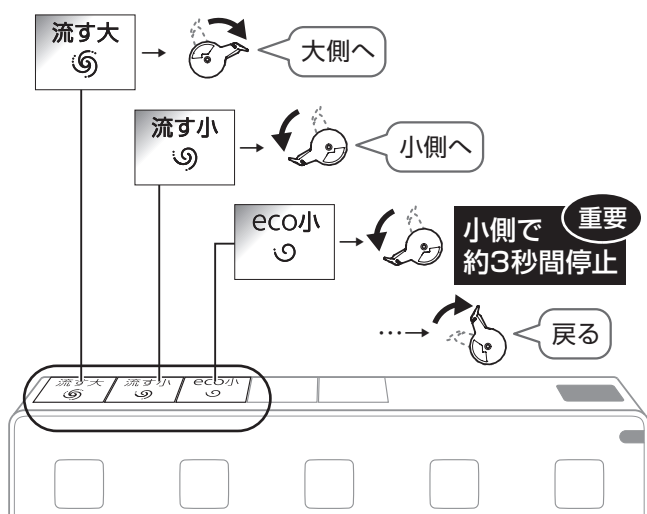


② 作動確認

□「大」・「小」・「eco小」のボタンを押して、それぞれの洗浄が正常に行われるか

※連続して押すと作動しません。

約10秒たってから、もう一度ボタンを押してください。



※機種によってデザインなどが異なります。

③ 試運転完了後、「運転入/切」が、「入」になっていることを確認する（「運転ランプ」点灯）

「切」のときは、電源プラグをコンセントに差し込んでもウォシュレットは作動しません。

※お客様に引き渡すまでに時間があっても「運転入/切」を切らないでください。

4 大便器・配管類の水漏れ確認

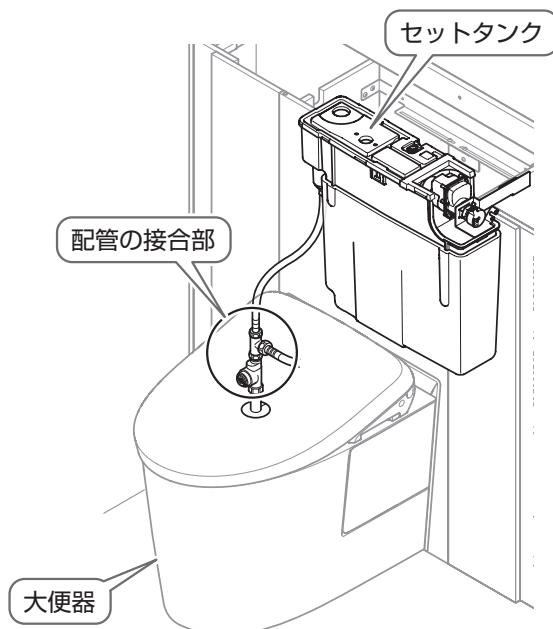
① 作動確認

2～3度洗浄させて、水漏れなどがいないことを確認する

□給水ホースの接続箇所は正しいか

□配管接合部からの水漏れがないか

□大便器・セットタンクからの水漏れがないか



5 水位の確認

必ず実施してください

正常な状態

設定変更不要です。



設定を行うと、洗浄不良になる場合があります。

水たまり面が低い

設定変更してください。

▶P.51

「水たまり面が低い場合の対応方法」



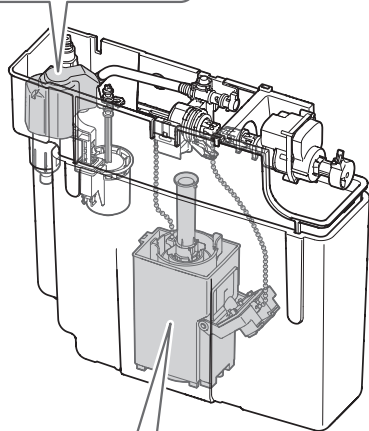
汚物付着の原因になります。
〈水たまり面 低下の理由〉
・排水管に曲がりが多い
・通気が不十分

※水たまり面の判断に迷ったとき

ペットボトルやバケツなどで徐々に水を足し、水たまり面が上昇しない場合は正常です。

タンク内を調整する際のご注意

漏水防止カバーを
外さない



制御筒に力を加えない
排水弁が浮いて、水が流れっぱなし
になるおそれがあります。

水たまり面が低い場合の対応方法

カバー(A)

2

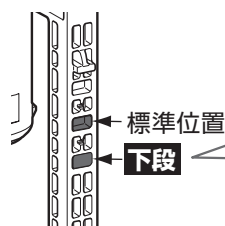
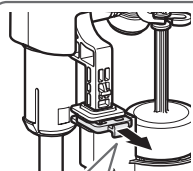
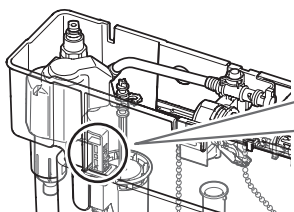
3 切替レバー(赤)を手前に
90°回転させる



1 止水栓を閉める
※内側だけを回す

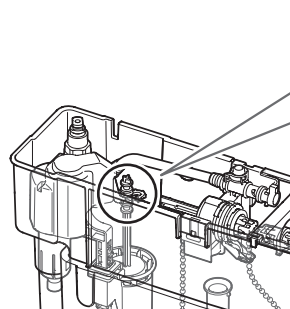


4 フック解除

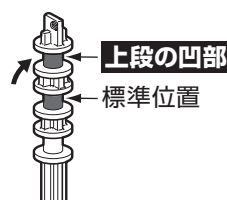
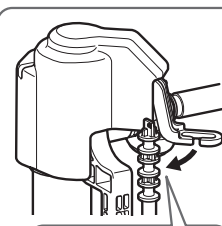


5 下段にフックを差し込む

※位置を間違えると給水しな
い、もしくは給水が止まら
ないことがあります。

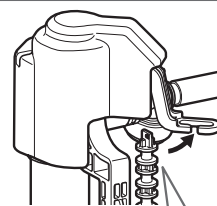


6 浮玉を外す

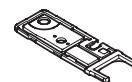


7 上段の凹部を取り付ける

※位置を間違えると給水しな
い、もしくは給水が止まら
ないことがあります。



8 カバー(A)を元に戻す



9 完了後の確認

- ☐ 止水栓を開け、2～3度洗浄させて、水漏れなどがないか
- ☐ 正常に洗浄するか
- ☐ 洗浄後、水たまり面の低下がないか

自治体によって洗浄水量の規制がある場合

【変更前】

大洗浄	4.8L
小洗浄	3.6L
eco小洗浄	3.4L

大洗浄	6L
小洗浄	4.8L
eco小洗浄	4.6L

変更
できます。

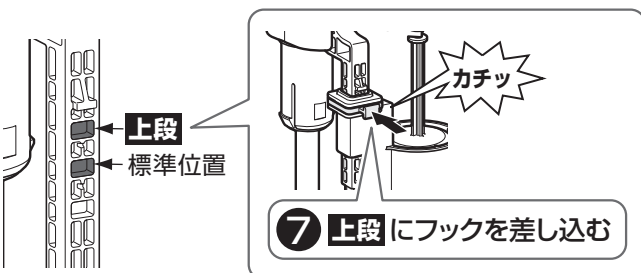
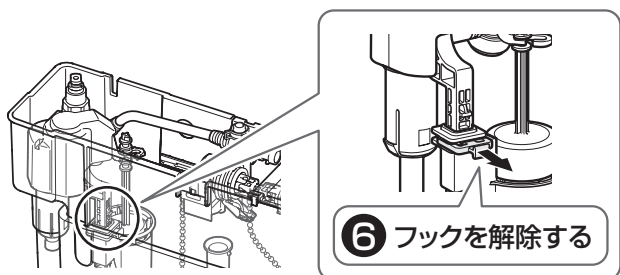
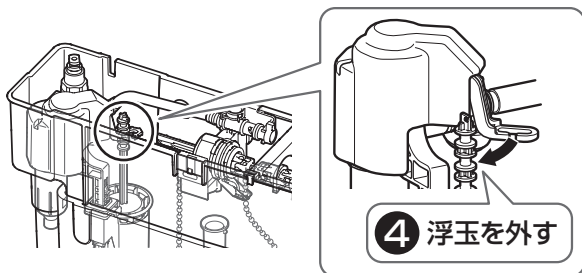
大洗浄	8L
小洗浄	7.5L
eco小洗浄	7L

大洗浄6L、小洗浄4.8L、eco小洗浄4.6L仕様への切替方法

①～③

▶P.51 水たまり面が低い場合の対応方法 の

①～③を実施



※位置を間違えると給水しない、もしくは給水が止まることがあります。

8 カバー(A)を元に戻す



9 完了後の確認

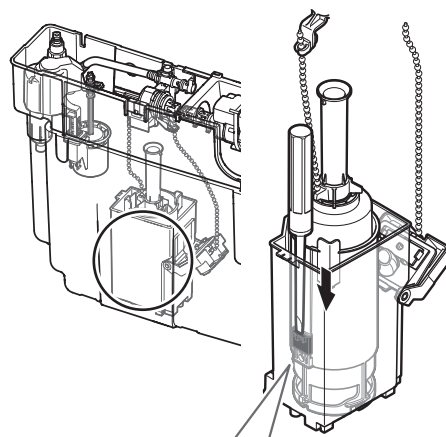
- ☐ 止水栓を開け、2～3度洗浄させて、水漏れなどがないか
- ☐ 正常に洗浄するか
- ☐ 洗浄後、水たまり面の低下がないか

大洗浄8L、小洗浄7.5L、eco小洗浄7L仕様への切替方法

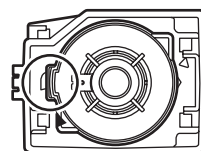
①～⑦

▶同ページ 左 大洗浄6L、小洗浄4.8L、eco小洗浄4.6L仕様への切替方法

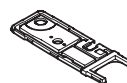
の①～⑦を実施



8 先の長いマイナスドライバーを差し込み、切替弁を下げる



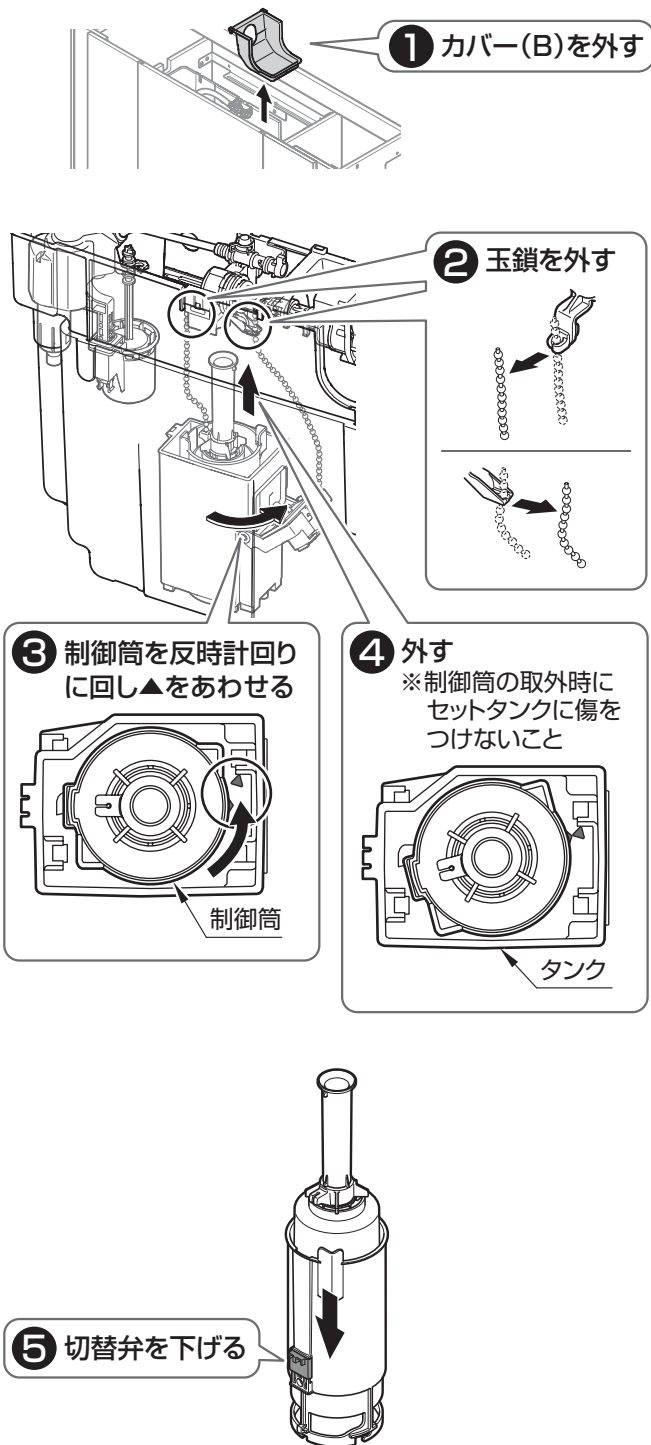
9 カバー(A)を元に戻す



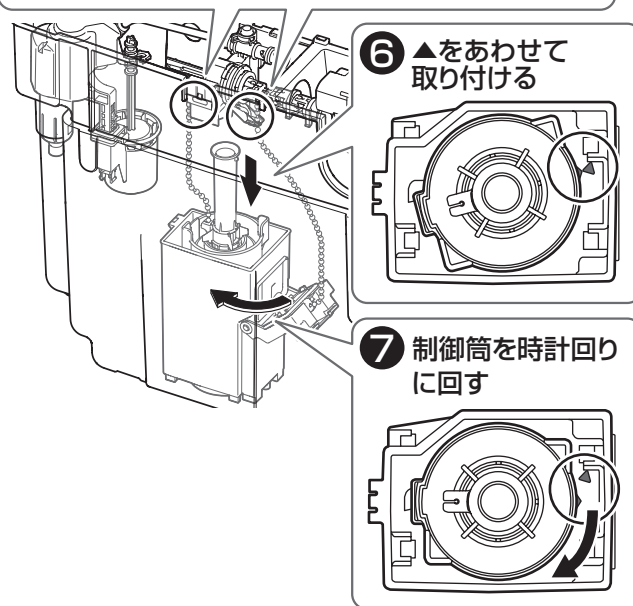
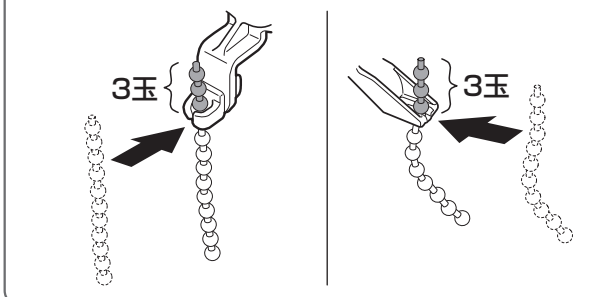
10 完了後の確認

- ☐ 止水栓を開け、2～3度洗浄させて、水漏れなどがないか
- ☐ 正常に洗浄するか
- ☐ 洗浄後、水たまり面の低下がないか

切替弁を下げられなかった場合



⑧ 玉鎖を取り付ける
※正しく取り付けないと止水不良になります。



⑨ カバー(2個)を元に戻す

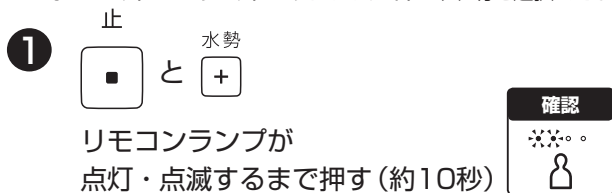


⑩ 完了後の確認

- ☐ 止水栓を開け、2～3度洗浄させて、水漏れなどがないか
- ☐ 正常に洗浄するか
- ☐ 洗浄後、水たまり面の低下がないか

6 やわらかライトの設定

※ウォシュレット アプリコットのやわらかライトは入/切を選択できます。



4 設定したい項目を選んでボタンを押す

【「使う」とき】

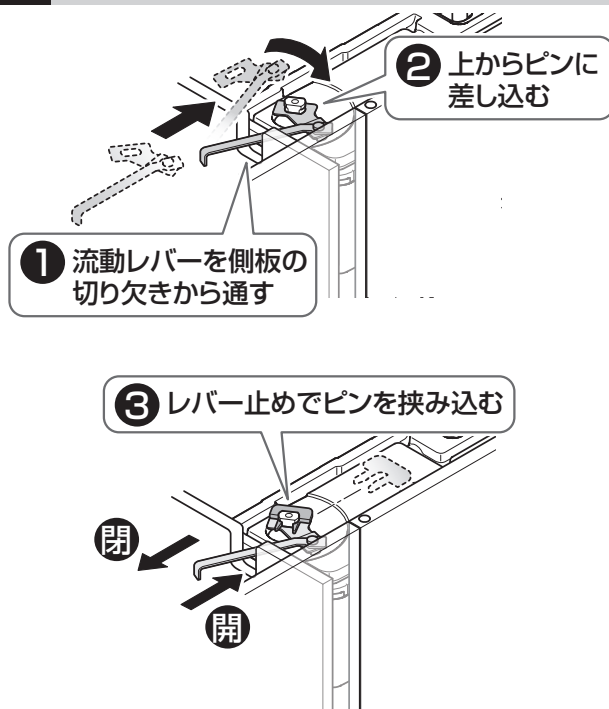


【「使わない」とき】



※ボタンのデザインは仕様により異なります。

8 流動レバーの作動確認 一般地/寒冷地流動方式の場合は 9 へ

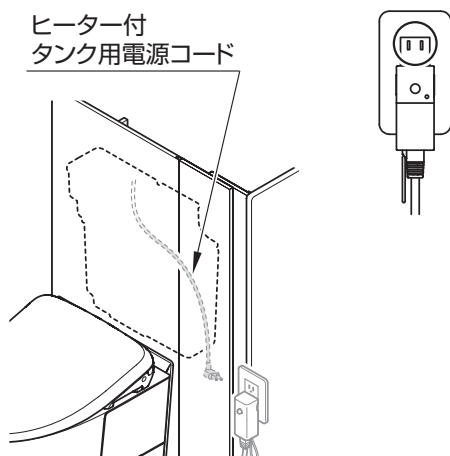


4 作動確認

- ☐ 流動レバーを手前に回し、水が流れることを確認する。
- ☐ 作動確認後、流動レバーを奥壁側に回し、閉まることを確認する。
- ☐ 確認後、止水栓を閉める。

7 電源プラグの差し込み 一般地の場合は 9 へ、寒冷地流動方式の場合は 8 へ

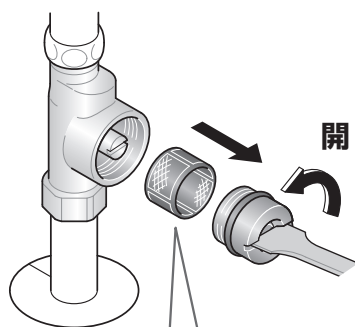
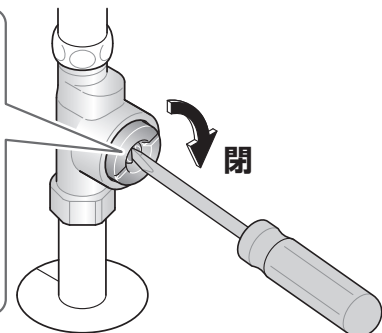
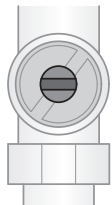
1 コンセントを差し込む



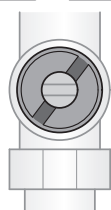
9 給水フィルターの清掃

必ず実施してください

- ① 止水栓を閉める
※内側だけを回す



- ② ふたを開け、
給水フィルターを取り外す
※外側だけを回す

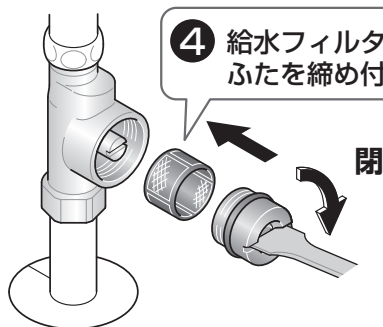


※止水栓は必ず商品同梱の専用止水栓(フィルター付き)を取り付けてください。

- ③ 給水フィルターの清掃



- ④ 給水フィルターを取り付け、
ふたを締め付ける



MEMO

12. 天板（手洗器あり）

手洗器なしの場合は
P.62「13. 天板（手洗器なし）」へ

使用部材



詰め合わせ箱

付属材セット（手洗器） ※手洗器ありの場合

取付材セット



取付材
(1個)



トラス
タッピンねじ
4×10(2本)

スパウト



(1個)

付属材セット

排水ソケット組品



排水ソケット
(1個)



パッキン
(排水口)
(1個)

付属材セット



ケーブルクリップ
(1個)



クイックファスナー
(1個)



結束バンド
(1個)

接続管組品



排水管カバー※
(1個)
※流動方式の場合のみ



接続管組品
(1個)



クッション材
(3個)

付属材セット

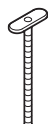


スパウト
固定用ナット
(1個)



パッキン
(スパウト用)
(1個)

取付材セット(手洗器)



Tボルト
M4×70(2個)



ちょうナット4
(2個)

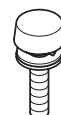


平座金
M6(2個)



ナット4
(2個)

ねじセット(排水ソケット)



ボルト
M4×20(2個)



ワッシャー
(2個)

給水ホースセット

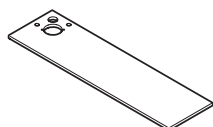


(1セット)



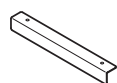
コアキャビネット

天板セット



天板
(1枚)

支持材セット



支持材
(1個)



トラスタッピンねじ
4×8(2本)

キャップセット



キャップ
(1個)

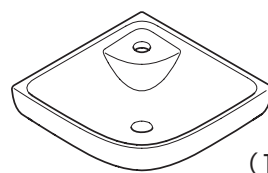


トラスタッピンねじ
4×8(2本)



その他包装

手洗器

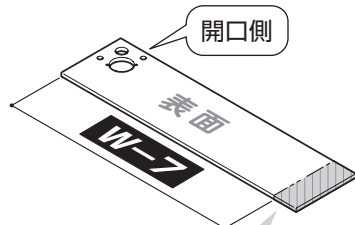


(1台)

1 天板の加工

- 1 測定 W寸法**
※奥・手前側の狭い方を基準にする

【上面図】



- 2 けがき → カット** **チッピングに注意すること**



のこぎりの場合は
表面からカット

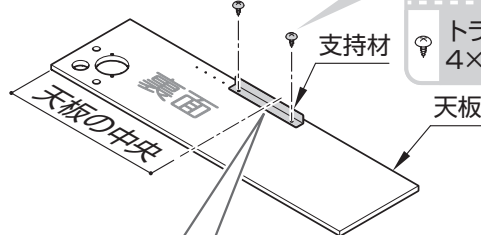


丸のこの場合は
裏面からカット

- 4 手締めで**



トラスタッピンねじ
4×8 (2本)



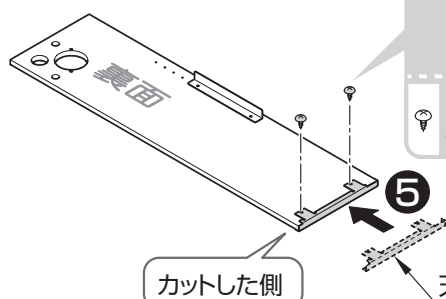
- 3 中心をあわせ
近い位置の下穴にあわせる**



- 6 手締めで**



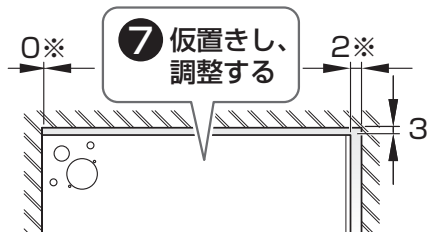
トラスタッピンねじ
4×8 (2本)



カットした側

- 5**

天板キャップ



- 7 仮置きし、
調整する**

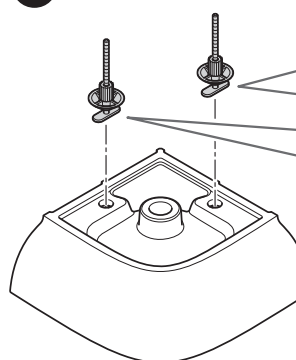
※右勝手の場合は左右反転

2 手洗器の組み立て

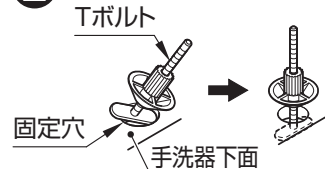
手洗器上面を下側にする際は、
段ボールなどを敷く
手洗器に傷が付かないように
してください。



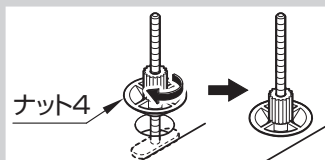
- 1 手洗器を裏返す**



- 2 固定穴に差し込む
Tボルト**



- 3 手締めで 仮固定する**



・必ず、ナットが手洗器と接触する
まで締め込む
取り付ける際に、手洗器から外れて
しまうことがあります。
・必ず、Tボルトが傾いていない
ことを確認する
カウンター取付時にTボルトが
外れることがあります。

3 クッション材のはり付け

- 1 はり付け面の汚れ・ホコリなど十分にふき取る**

- 2 クッション材のはくり紙をはがしながら、
下記の位置にクッション材をはり付ける**

警告



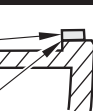
必ず守る

クッション材のはり付けは確実に
水などが浸入してコンセントにかかり、火災
や感電の原因となります。

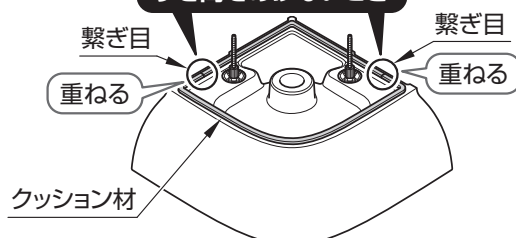
手洗器の内側コーナー部にあ
わせてはり付ける
設置後にクッション材がはみ出す
ことがあります。

クッション材

内側コーナー部
にあわせる



すき間をあげないこと



4 パッキン(排水口)の取り付け

⚠ 注意



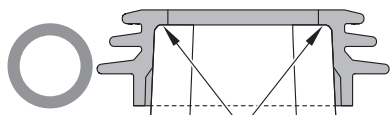
禁止

パッキン(排水口)にグリスを使用しない
劣化し水漏れして家財などをぬらす財産損害
発生の原因となります。

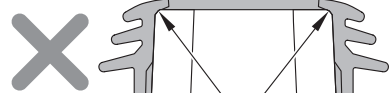


必ず守る

パッキン(排水口)は手洗器排水口に
密着するまで押し込む
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生
の原因となります。

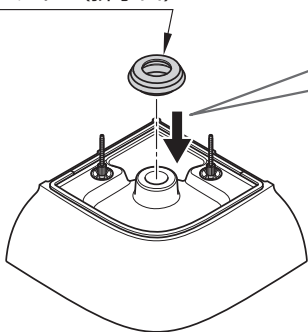


密着するまで押し込む



差し込みすぎ

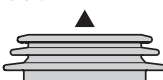
パッキン(排水口)



① 手洗器排水口外周の
汚れを取り除き、
装着する

取付方向に注意

排水ソケット側



手洗器排水口装着側

5 スパウトの取り付け

⚠ 注意



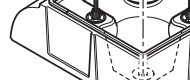
必ず守る

給水ホースはスパウトの根元までしっかり
差し込む
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生
の原因となります。

給水ホースセット



スパウト
固定用
ナット



パッキン
(スパウト用)



③ ラジオペンチ



② ナット締付工具
(別売品)



① 取付向きに注意する



後壁と
平行

45°

6 接続管組品の取り付け

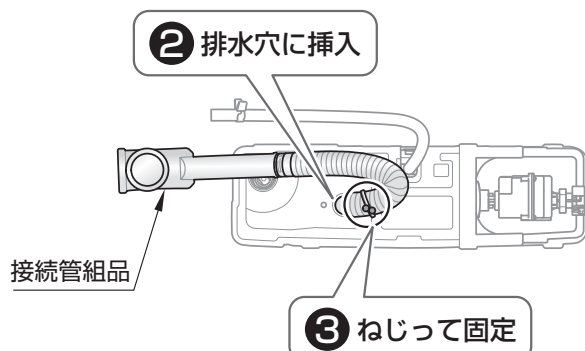
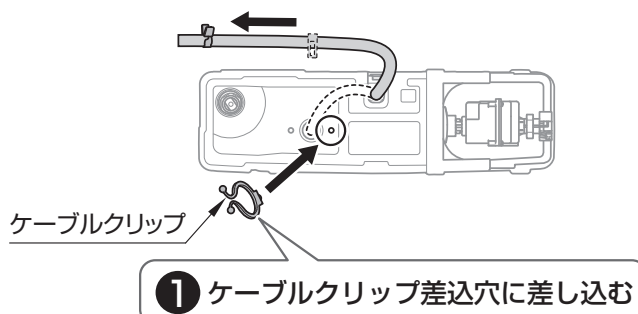
⚠ 注意



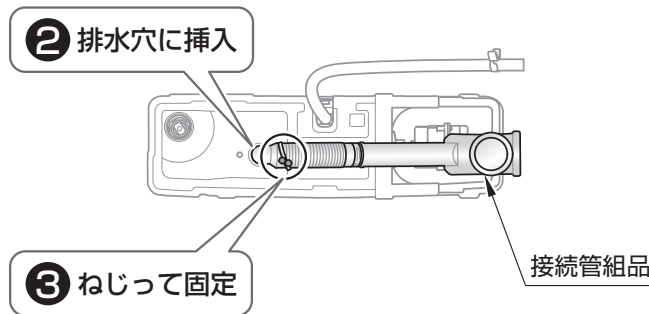
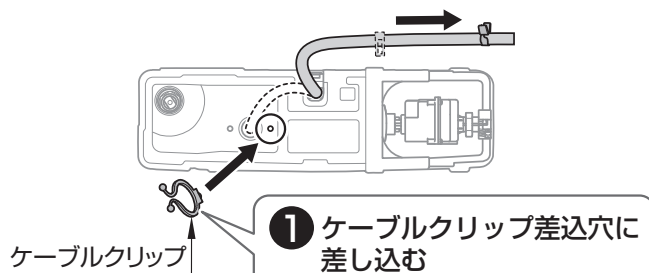
必ず守る

ケーブルクリップを必ず付ける
ジャバラホースが外れ、水漏れして家財などを
ぬらす財産損害発生の原因となります。

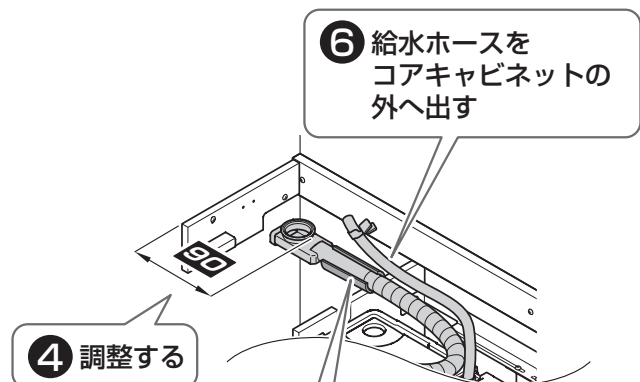
左勝手の場合



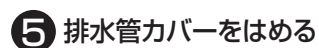
右勝手の場合



左勝手/右勝手 共通



流動方式の場合



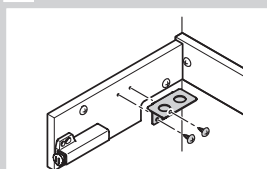
逆勾配防止

7 手洗器の取り付け

1 手締めで



トラスタッピンねじ
4×10(2本)



扉を取り外すと、施工が
しやすくなります

! 注意



水栓部分を持たない
給水金具が破損して水漏れし、財産損害発生
の原因となります。



必ず守る

パッキン(排水口)がセットされていることを確認する
水漏れして建物や設備などをぬらす財産損害
発生の原因となります。

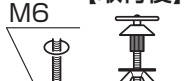
2 手締めで



仮固定

手洗器手前側
は10で固定

平座金【取付後】
M6



ちょう
ナット4

3 手締めで



仮固定

排水
ソケット



ワッシャー



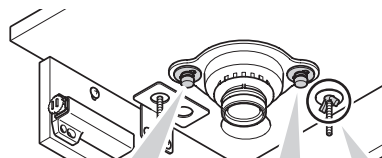
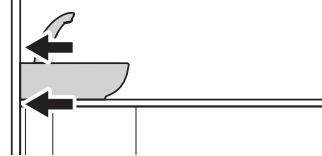
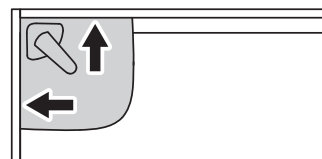
ボルト
M4×20

5 手洗器を 押し当てる

4 手前の穴にボルトを通す

6 前板組品に支持材を差し込む

7 手洗器を横壁と後ろ壁に押し当て、位置調整する



8 手締めで



本固定する

ソケットが天板に固定されていることを確認する

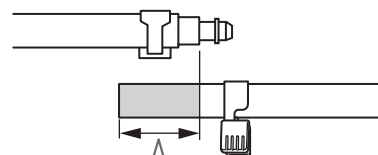
8 給水・排水部材の取り付け

! 注意



必ず守る

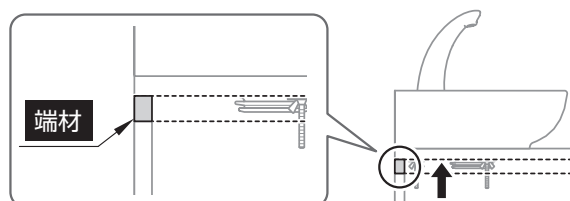
・切断面が垂直になるようにカットする
・接続後、確実に固定されていることを確認する
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生
の原因となります。

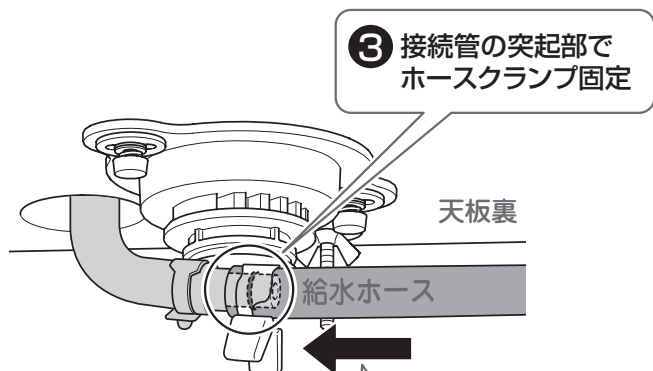


1 適切な長さにカット

施工がしづらい場合

・天板の端材を加工して天板の間に挟むように仮置きして
ください
・手洗器を側板組品に固定する前に端材を取り外してください





2 奥まで差し込み、給水ホースがたるまないようにする



水抜方式の場合は必ず実施

タンクからの給水ホースが長い場合

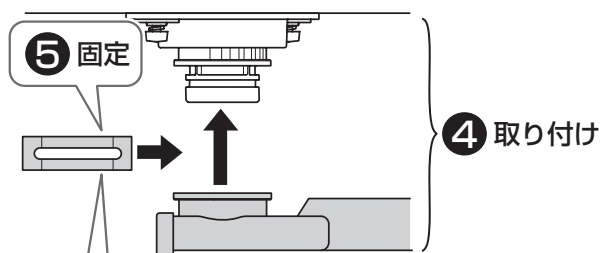
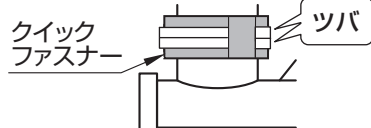
手洗器給水ホース接続部の接続代を確保してカットし、給水ホースがたるまないようにする

注意



必ず守る

- ・クイックファスナーの全周にツバが掛かっていることを確認する
 - ・クイックファスナーがスムーズに1回転することを確認する
- 水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。



6 結束バンドを取り付ける

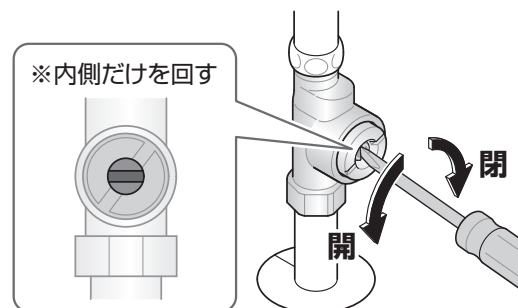


余りはカットしない

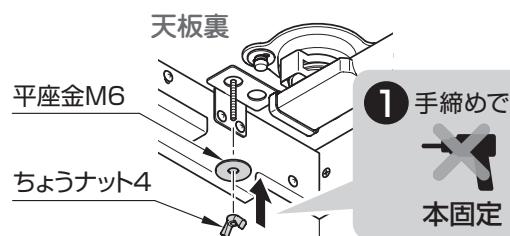
9 吐水の確認

手洗器ありの場合

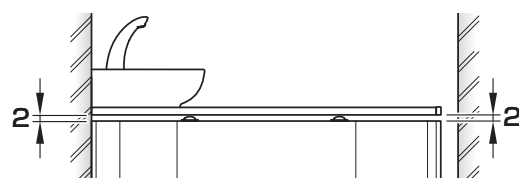
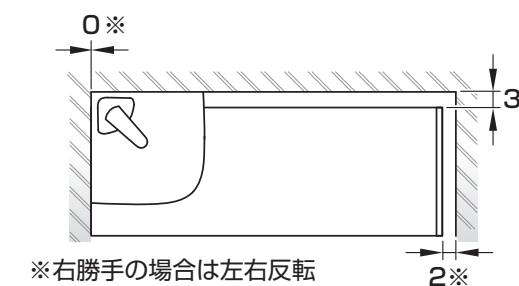
適切な流量になるまで、少しずつ止水栓を開ける
水の勢いが強い場合は、止水栓を回して流量を調整してください。



10 天板の取り付け

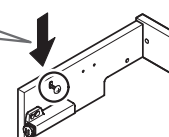


仕上げ状態 (目安)



天板と側板組品が当たり2mmにならない場合

ねじをゆるめて
押し下げる



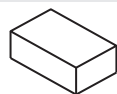
12

天板 (手洗器あり)

13. 天板（手洗器なし）

手洗器ありの場合は
P.66「14. 仕上げ」へ

使用部材



詰め合わせ箱

天板開閉部材セット※まるごと収納タイプの場合

スライド丁番セット

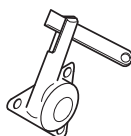


スライド丁番
(2個)



皿タッピンねじ
3.5×14(4本)

ダンパーセット



ダンパー 本体
(1個)



ダンパー 座金
(1個)



トラス小ねじ
M4×8(5本)



トラス小ねじ
M4×5(1本)

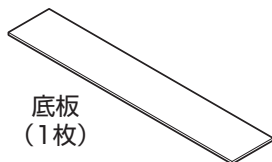


コアキャビネット

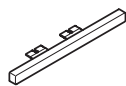
コアキャビネット

【まるごと収納タイプの場合】

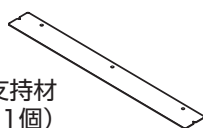
底板セット



底板
(1枚)



キャップ
(1個)



支持材
(1個)

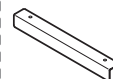


トラスタッピンねじ
4×10(5本)

天板セット

支持材セット

【スリム収納タイプの場合】



支持材
(1個)



トラスタッピンねじ
4×8(2本)

キャップセットL



キャップ(L)
(1個)



トラスタッピンねじ
4×8(2本)

キャップセットR



キャップ(R)
(1個)



トラスタッピンねじ
4×8(2本)

MEMO

まるごと収納タイプの場合

▶P.63

スリム収納タイプの場合

▶P.65

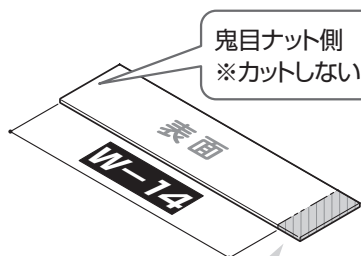
まるごと収納タイプ

1 天板の加工

1 測定

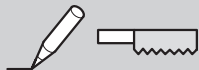
W寸法
※奥・手前の狭い方を
基準にする

【上面図】



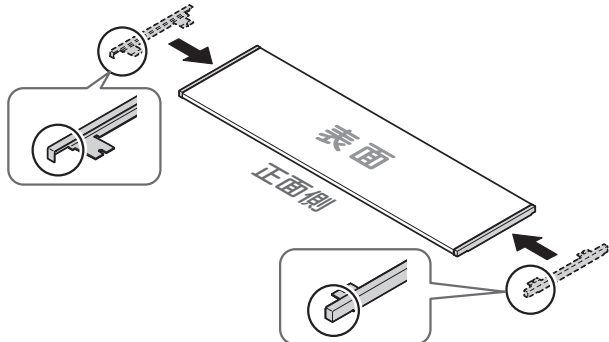
2 けがき → カット

チッピングに注意すること



3 取り付け

※ねじ固定しない

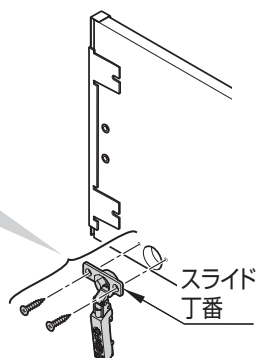


2 スライド丁番の取り付け

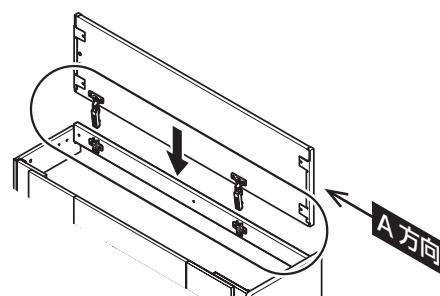
1 手締めで



皿タッピンねじ
3.5×14(左右各2本)

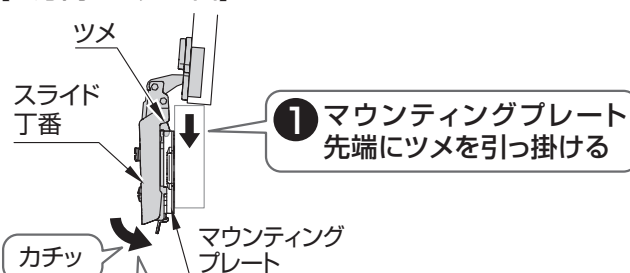


3 天板の取り付け



取り付けかた

【A方向から見た図】

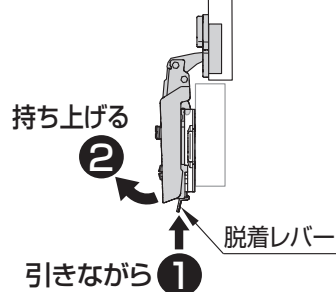


2 押し下げる

スライド丁番本体がきちんとマウンティングプレートに装着
されているか確認する

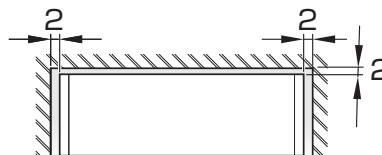
取り外しかた

【A方向から見た図】



3 すき間を調整する

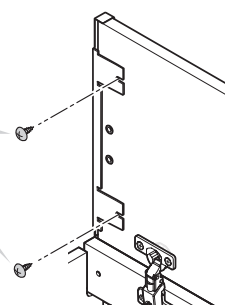
天板の両端が壁をこすらないこと



4 手締めで



トラスタッピンねじ
4×8(左右各2本)



4 ダンパーの取り付け

1 手締めで



・丸穴は使用しない
・固定後ゆるみがないか確認

トラス小ねじ
M4×8 (5本)

ダンパー本体

ダンパー座金

2 手締めで



軸に穴をはめ込み固定
【軸に穴があわない場合】
②のねじをゆるめて
位置を調整する

トラス小ねじ
M4×5 (1本)

5 底板の加工

1 測定



W寸法
※奥・手前の狭い方を
基準にする

【上面図】



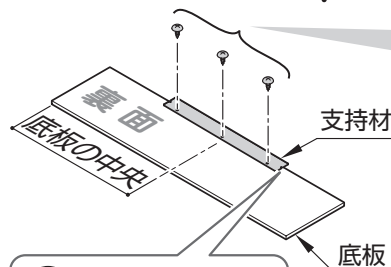
2 けがき → カット



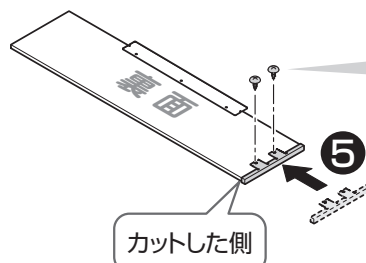
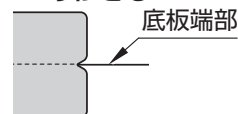
4 手締めで



トラスタッピンねじ
4×10 (3本)



3 底板前端にあわせる

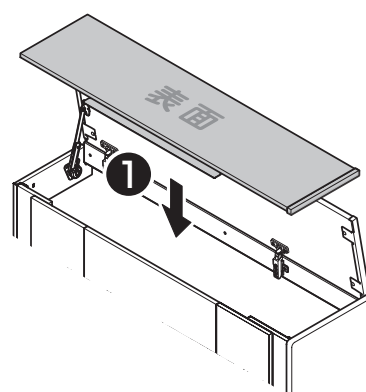


6 手締めで



トラスタッピンねじ
4×10 (2本)

6 底板の取り付け



※底板にがたつきがある場合は底板下のアングル材で調整すること

👉 P.66 14.仕上げへ

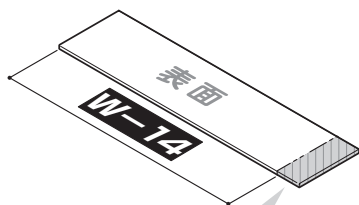
スリム収納タイプ

1 天板の加工

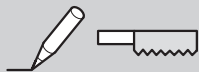
① 測定

W寸法
※奥・手前の狭い方を
基準にする

【上面図】



② けがき → カット



チッピングに注意すること

のこぎりの場合は
表面からカット

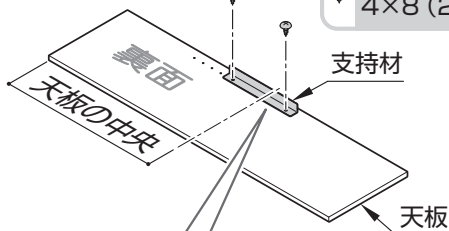
丸のこの場合は
裏面からカット

2 天板の組み立て

② 手締めで



トラスタッピンねじ
4×8 (2本)

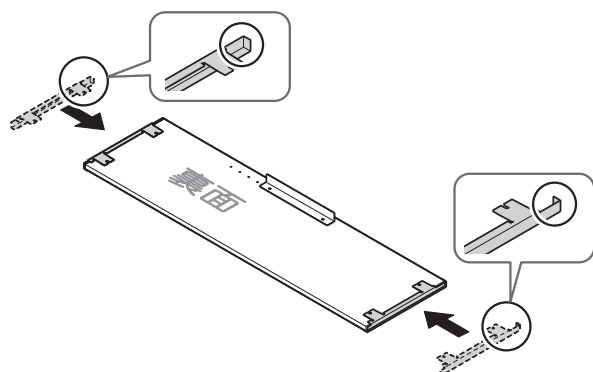


① 中心をあわせ近い位置の下穴にあわせる



③ 取り付け

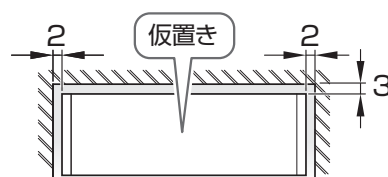
※ねじ固定しない



④ すき間を調整する

天板の両端が壁をこすらないこと

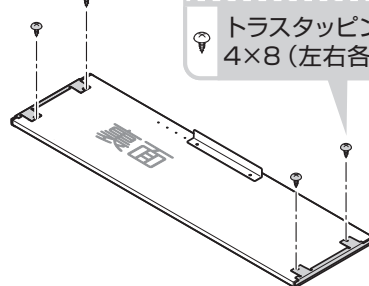
【上面図】



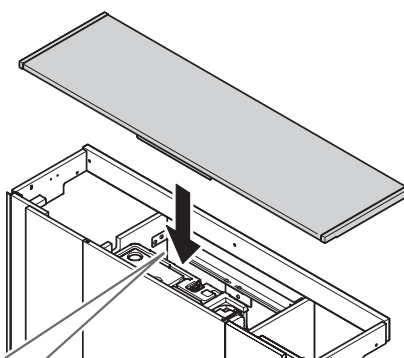
⑤ 手締めで



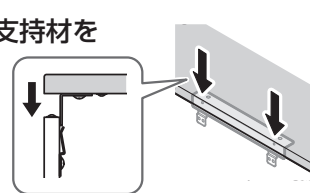
トラスタッピンねじ
4×8 (左右各2本)



3 天板の取り付け

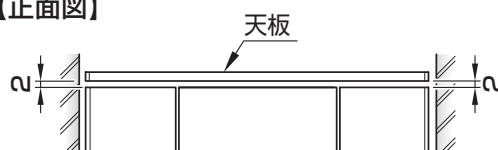


① 前板組品に支持材を差し込む



② すき間を調整する

【正面図】



天板と側板組品が当たり2mmにならない場合



14. 仕上げ

扉の調整については下記URL内の「扉の調整」をご覧ください。
【URL】 https://jp.toto.com/support/repair/toilet/cabinet/rt_door05_mov/



使用部材



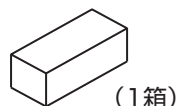
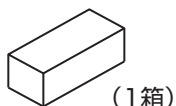
詰め合わせ箱

施工説明書

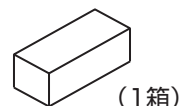
紙巻器（メタル製/樹脂製）

ハンドグリップ

タオル掛け



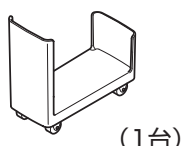
【壁取付タイプ】



コアキャビネット

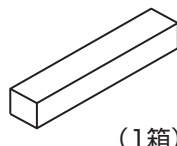
コアキャビネット

引き出しラック

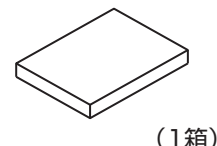


その他包装

木製手すり



化粧鏡



1 リモコン

- ① リモコンの取り付け **参照** ウォシュレット施工説明書
- ② リモコンの設定・作動確認 ▶ P.42 **5** へ

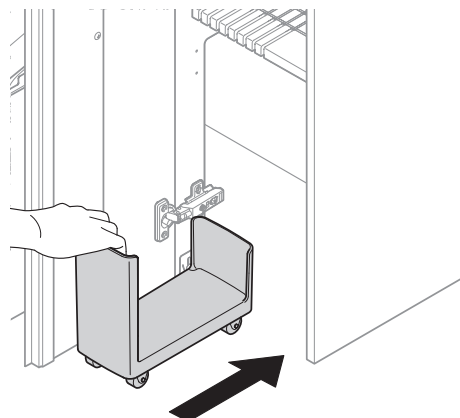
2 器具類の取り付け

【タオル掛け、化粧鏡、木製手すり、ハンドグリップを選択している場合】

参照 各商品に同封されている施工説明書

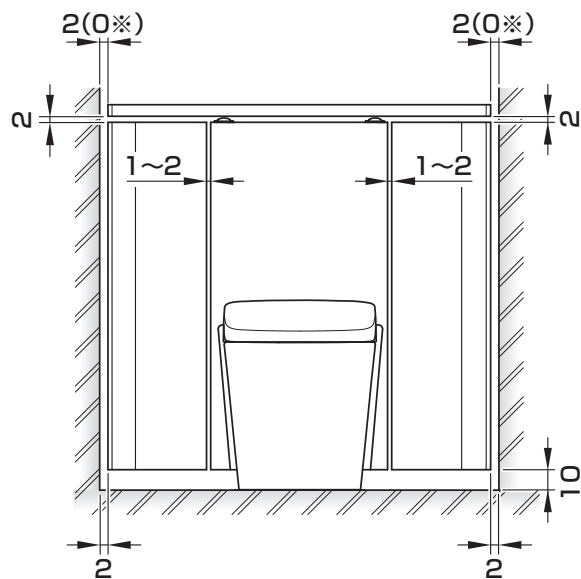
3 引き出しラック

大便器キャビネットの中に収納する



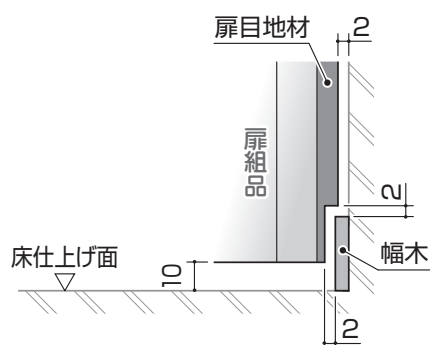
4 扉の本固定

仕上げ状態 (目安)



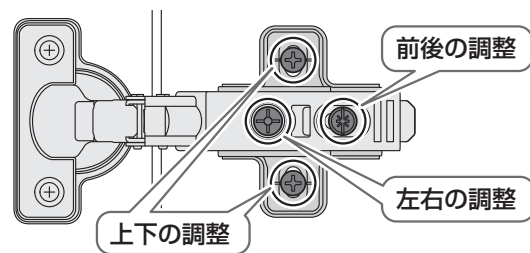
※手洗器ありの場合の手洗器側

幅木がある場合

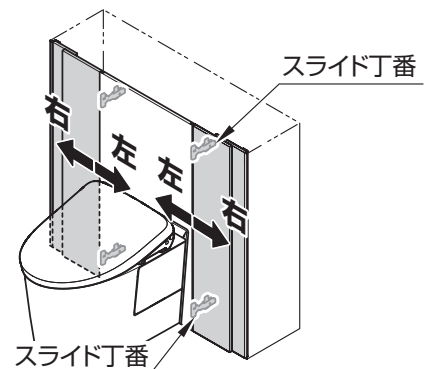


扉の調整

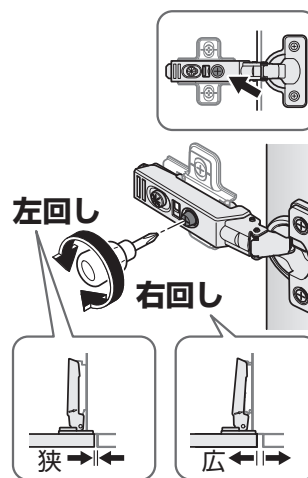
各ねじを調整することで扉を調整できます



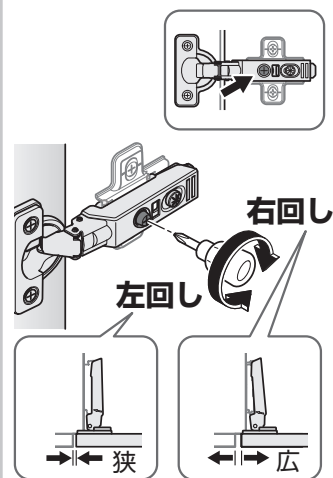
左右方向



【左扉】



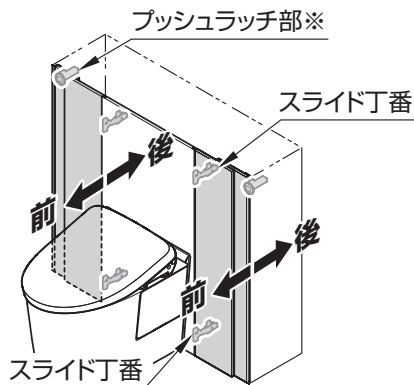
【右扉】



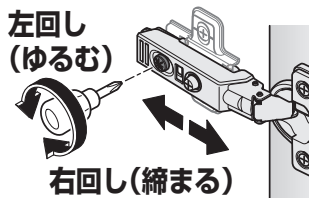
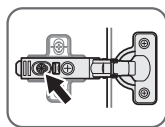
① 前後・上下方向の調整

ねじをゆるめ、扉を持って各方向にずらして位置を調整し、ねじを締めて固定してください。

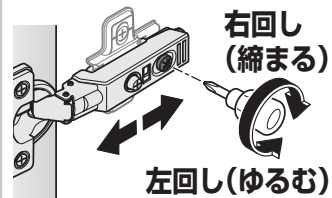
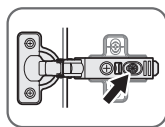
前後方向



【左扉】



【右扉】

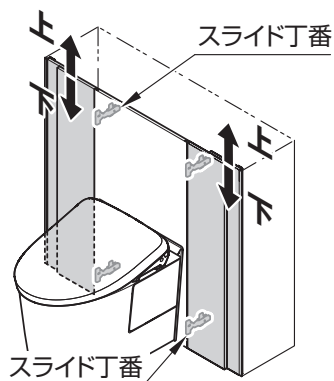


※プッシュラッチ部も
前後調整できます。

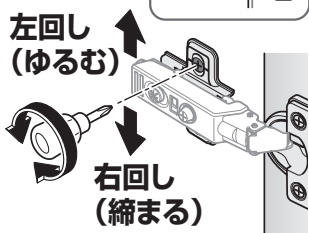
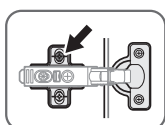


上下方向

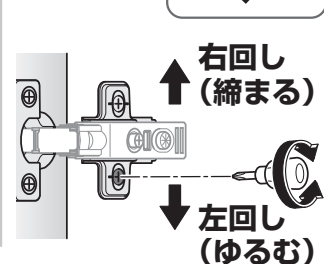
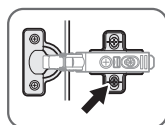
扉の上下調整は上下2つのスライド丁番の移動方向にあわせること



【左扉】



【右扉】

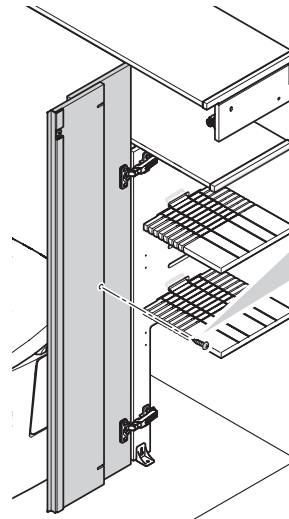


※扉の向きによって
調整ねじ位置が変わります。

② 手締めで



トラスタッピンねじ
4×20(1本)



MEMO

5 天板の調整

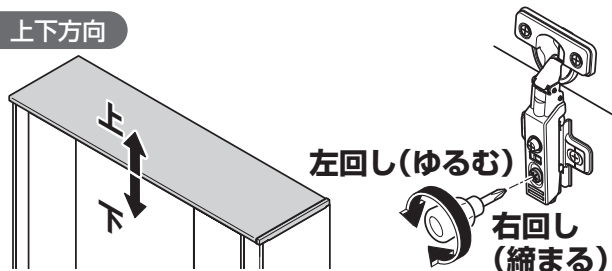
天板の調整

前後方向

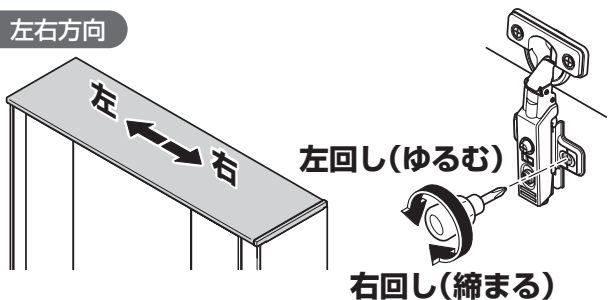


上下・左右はねじをゆるめ、天板を持って各方向にずらして位置を調整し、ねじを締めて固定してください。

上下方向



左右方向



閉まり速度調整

⚠ 注意



禁止

調整時に弱めすぎない
天板が速く閉まり、けがの原因となります。

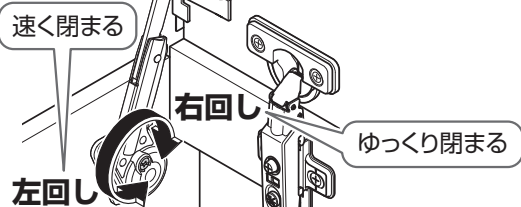
分解、改造をしない
器具が破損し、けがの原因となります。

① ゆるみがある場合、増し締めしてしっかり固定する

※速度調節部は、限度以上に回さないでください。

※温度によりダンパーの作用速度が変わることがありますが、故障ではありません。

速く閉まる



ゆっくり閉まる

6 クッション材のはり付け

【天板・便ふたを開けたとき、壁などに当たる場合】

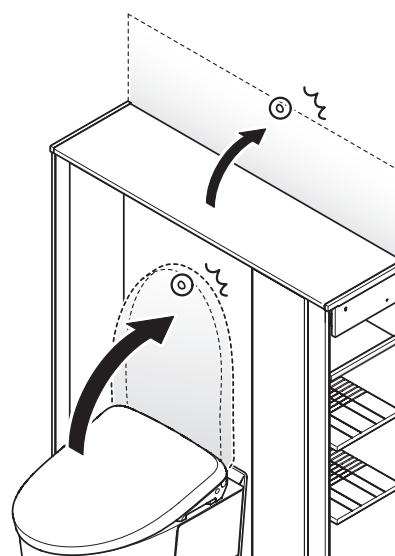
① クッション材をはり付ける 「施工説明書」 「ウォシュレット」同梱

クッション材



	天板上面	便ふた
まるごと収納タイプ	○	○
収納タイプ	—	○
スリム収納タイプ	—	○

※はり付け面を水ぶきし、乾燥後はり付けてください。
※お使いにならない場合は、取扱説明書と一緒に
お客様に渡してください。

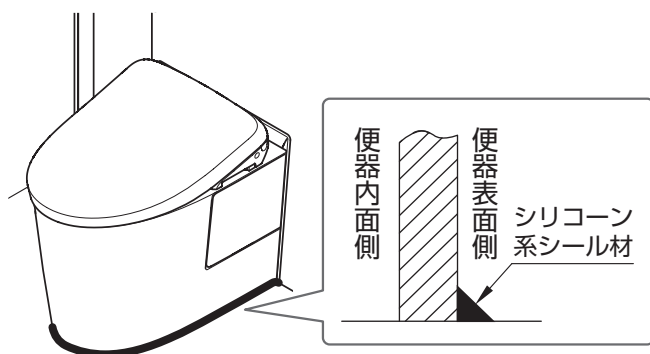


7 シリコン系シール材の塗布

大便器

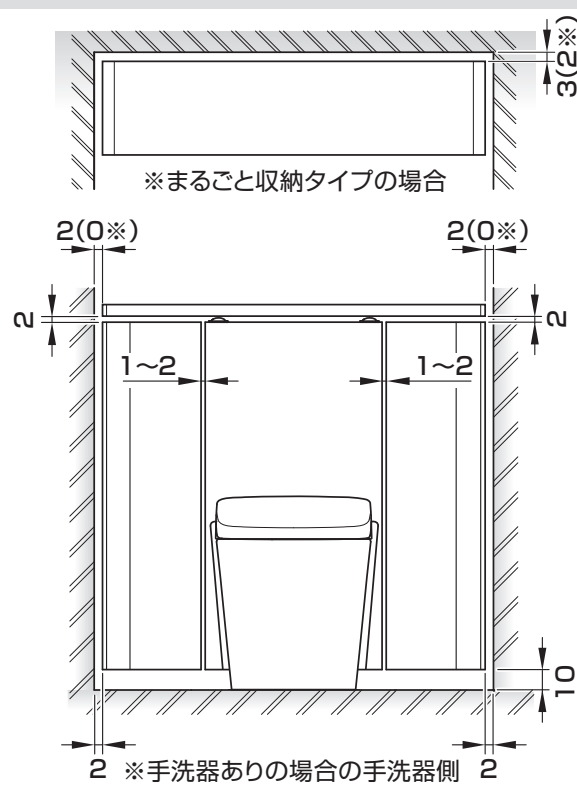
水や小水の浸入を防止するため、便器床接地部周囲に防カビ性の透明シリコン系シール材(別途手配)を塗布することをおすすめします。

※手洗器や天板と壁の間は、シリコン系シール材を塗布しないでください。

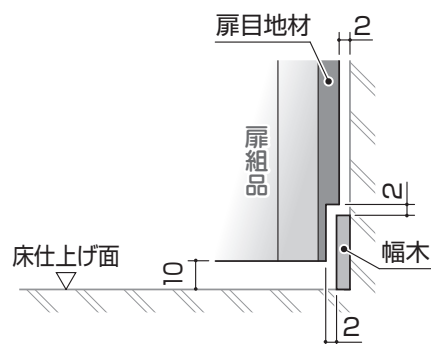


8 仕上げ状態の確認

仕上げ状態(目安)

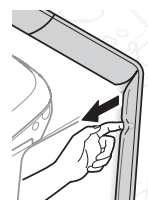


幅木がある場合

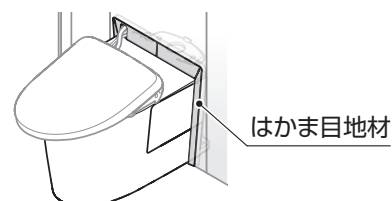


はかま目地材がズレた場合

- 1 はかま目地材とのすき間に手を入れ、はかま目地材を引き出し、ズレを調整する



- 2 ズレている箇所がないか確認する



MEMO

